

<b>学校教育目標</b>	「光の子・力の子」 ～自分の輝きを見つけ、自分の力を発揮し友とまちと共に生きていく子～ ○基礎・基本を大切に、学ぶ楽しさを感じて、共に学び合う子を育てます。(知) ○自他のよさを見つけ、礼儀や規律を重んじて自分も友も大切にすることを育てます。(徳) ○健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子を育てます。(体) ○地域を愛し、社会の一員として自分で考え行動できる子を育てます。(公) ○様々ななかかわりやコミュニケーションを通して、視野を広げていく子を育てます。(開)				
	学校概要 創立 54 周年   学校長 山崎 薫   副校長 丸山 浩司   2 学期制   一般学級: 12   個別支援学級: 3 児童生徒数: 313 人   主な関係校: 泉が丘中学校・下和泉小学校・伊勢山小学校				

<b>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</b>	<b>中ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組</b>
<コミュニケーション力> <協働して課題解決する力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	○泉が丘中 ○下和泉小 ○伊勢山小	進んで人や地域と関わり、自他のよさに気付ける子ども これまでの学びをこれからの学びに生かしていくことができる子 ○研究討議を伴う合同授業研究会実施による小中の指導の一貫性の確認 ○児童生徒交流日における授業参観や部活動体験の実施 ○教務主任会やブロック専任会でのカリキュラム編成の在り方や児童生徒の諸問題の共有

<b>中期取組目標</b>	○保護者、地域、教職員全員が互いに学び合い、協力し合いながら、子どもたちの健やかな成長を育む学校にします。 ・誰もが分かる楽しい授業づくりを目指し、一人ひとりが自分の考えを表現しながら学力を向上させるようにします。 ・子どもたち一人ひとりが自ら進んで明るく元気にあいさつのできる学校をつくるようにします。 ・相手の心や立場に寄りそう思いやりの心をもった子の育成を目指し、一人ひとりが大切にされる学校をつくりまします。 ・小規模校のよさを生かし、縦割り交流を積極的に進め、自尊感情や自己肯定感を高めるようにします。 ・保護者や地域社会との連携を図り、地域に根ざした体験活動を重視することを通して、豊かな心情を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 推進委員会	①重点研テーマを引き続き「主体的に学び、自分の考えをもち、伝え合う子どもを目指して」～言語活動を通して、自分の思いや考えを豊かに表現できる子の育成～と設定し、授業力向上に努める。②タブレットを日常的に使う機会を増やし、より、身近な学習道具として使えるようにする。
<b>豊かな心</b> 担当 たて割り委員会	①昨年度実施した新しい形式の縦割り活動を進化させるとともに、可能な限り直接交流の機会を設定し、自尊感情や自己肯定感の向上を目指す。②地域の人と触れ合う行事や体験活動を意図的、計画的に実施し、まちの人々から学んだり、仲間と協力しあったりする機会を設ける。
<b>健やかな体</b> 担当 体力増進委員会	①体育の単元配列を見直し、長縄や体力アップの取組がより効果的な時期に実施できるようにする。ランニング大会は実施を見据え計画を進める。②学校保健委員会の取組内容を児童会や各種委員会を巻き込むように計画準備し、児童が主体的に年間を通じて継続的に取り組む。
<b>児童生徒指導</b> 担当 児童指導委員会	①児童支援専任を中心に未然防止を大切にして児童支援や特別支援教育に積極的に取り組む。毎月の会議で児童の状況の共通理解に努める。②「一人で抱え込まない、一人で背負い込まない」を合い言葉に常に情報を共有し、学校全体チームとして児童指導や保護者対応にあたる。
<b>特別支援教育</b> 担当 指導指導委員会	①学習が遅れ、一斉指導が極めて困難な児童は、保護者や本人と合意の上、取り出し指導により支援を強化する。また、心に不安のある児童には、落ち着ける別室を設け、安定化に努める。②給食交流や集会活動等を通して、個別支援学級と一般級の子どもの交流を深める。
<b>センター的機能の取組</b> 担当 児童指導委員会	①療育のコンサルテーションや通級指導教室のセンター機能を活用しながら、特性のある児童への理解を深めるための研修を行う。②関係諸機関・幼稚園・保育所・ブロック小中学校との連絡や情報交換を密にし、児童理解に努める。
担当 a15	c7
担当 a15	c8
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止委員会	①年2回のY-Pの活用、年1回のアンケート実施と必要に応じた聞き取りの実施で早期把握に努め、悩みを誰にでも相談できる教職員との関係づくりに努める。②月1回校内委員会を開き、専任を核とした記録整理と情報共有に努め、保護者、関係機関との連携を深め指導にあたる。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 教務・メンター	①運営組織を月1回のABCの三部会制にし、学年・ブロック研の時間確保と充実を図り、教材研究等による授業力向上や要配慮児童の児童理解を深める取組を行う。②メンターチームを組織し、学級経営や授業の力量を高めるように研究・研修を行う。③グループウェア、電子申請システムの活用を推進し、業務の効率化を図る。